

とつきび

2020/ 8

No.93

発行／最上ふれあい学園

編集／最上ふれあい学園広報委員会

〒999-6105 山形県最上郡最上町大字富沢4 4 6 7

TEL 0233-45-2236 ・ FAX 0233-45-2011

HPアドレス：<http://www.vega.ne.jp/~mogamifg/>

Eメールアドレス：mogamifg@vega.ne.jp



P 2 新年度のご挨拶

P 3 フォトコーナー／職員紹介

P 4～5 スポーツフェスタ

P 6 新型コロナウイルス感染症への取り組みについて
ボランティア・寄贈／編集後記 他

目次

「笑顔あふれる優しい支援」
利用者さんの幸福実現のために」

サービスの実践に努めております。

新支援体制の定着

新年度への気持ちを新たに
一方で、新型コロナウイルス感染症
の先行きが不透明な中、「普通では
ない」新年度のスタートとなつてし
まいました。コロナ感染症の脅威を
身近に感じ、日々職員で対策を講じ
ながらの業務が続いております。事
業が計画通り進まないもどかしさと、
楽しみにしていた行事の中止や活動
規模の縮小などが余儀なくされ利用
者様に大変申し訳なく、代替え行事
の実施などで対応させて頂いており
ます。

リスク管理と危機管理の徹底

全国的にも感染症が一日でも早く
収束に向かい、東京への帰省やご家
族様との面会なども、平常に戻るこ
とを皆様と共に願っております。

さて、最上ふれあい学園が開所か
ら31年目となりました。まさに「光
陰矢の如し」であります。今年度の
最上ふれあい学園では、「笑顔あふ
れる優しい支援」をスローガンに、
職員一人ひとりが初心に戻り「和顔
愛語」の理念を再認識しながら支援

者については感染後の対策にも慎重を
期す必要があります。

人材確保と育成

福祉人材の需要が増す一方、人材
不足は更に高まっており、人材確
保は深刻化する一方です。人材確保
と育成は法人経営の視点でも取り組
むべき大きな課題となっております。
法人では働き甲斐があり自分の成長
も実感ができるような人事考課制度
の構築を推進中であります。また日
頃から法人や施設単位での職員研修
の実施についても重要な取り組みと
して推進しております。

施設老朽化対策

学園本館の建物が建築後30年を経
過し、利用者さんの生活環境や安全
面に危険が及ばないよう今後共計画
的な修繕整備が必要であります。ま
た将来の改築等も考慮した積立金の
確保も必要であり、そのためには、
財務基盤の強化と中長期計画に基づ
く資金計画の策定を行っております。
今年度は、本館棟のトイレ、洗
面所の改修工事と管理棟のリニュー
アル工事を計画しております。また
令和3年度には、暖房配管及び受変
電設備の大規模修繕を実施できるよ

うに計画しております。

第8期基本計画の締め括りと
第9期基本計画の策定

本年度は、第8期基本計画3年目
の締めくくりの年です。また第9期
への移行準備の年度でもあります。
第8期の評価や課題を整理し、第8
期基本計画の延長線上に、第9期の
計画策定に着手しました。学園は開
設から31年目の節目の年でもあり、
将来を見据えたさらなる施設の発展
と事業の創造が重要であり、そして
安全、安心かつ安定した施設経営と
支援サービスの提供が求められてお
ります。

このように数々の経営課題があり
福祉情勢も相変わらず厳しい状況で
ございますが、今年度も学園スタッ
フ一丸となつて利用者さんの幸福実
現のために努力してまいります。ま
た職員にとつても最上ふれあい学園
が魅力ある職場であり誇りをもって
働けるような職場環境づくりに取り
組んで参ります。

今後共、関係各位皆様方の変わり
ぬご理解とご支援をお願い申し上げ
ます。

フォトコーナー



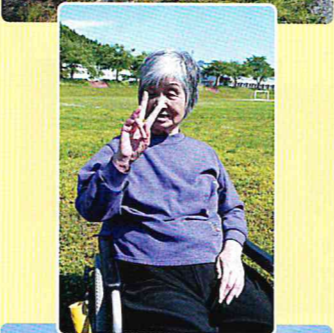
▲田植え



▲桜の木の下で



▲バス



▲ハイ、ポーズ



▲笑顔



▲みんな仲良く



新職員の紹介

さとう よしひろ
佐藤 義浩
支援員

介護職を10年やってきて、
今回初めて支援職への挑
戦となります。ご指導・
ご鞭撻よろしく願いま
す。

おの ゆうこ
小野 裕子
調理員兼介助員

6月より朝陽の家に異動
になりました。利用者の
皆さんが日々穏やかに快
適に過ごすお手伝いがで
きますよう、頑張ってい
ます。

たかはし めぐみ
高橋 恵
栄養士

今年度より新採でお世話
になっております。心も
体も元気になるようなメ
ニューを提供していきたい
と思います。明るく笑
顔で頑張ります！

とがし ちかこ
富樫千賀子
調理員

2月よりお世話になつて
おります。笑顔で元気に
おいしい食事を作ってい
きますのでよろしく願
います！

ながせ しげき
永瀬 繁樹
業務員兼介助員

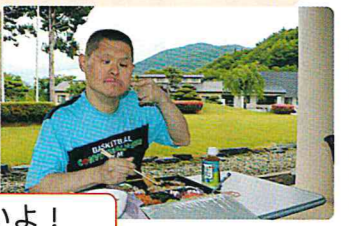
4月よりお世話になつて
おります。利用者・職員
全員が安全・安心・快適
に過ごせるように園内外
の環境整備を頑張ります。
よろしく願います！

西棟

6月16日に開催。西棟は車椅子を利用して利用者が多い特性上競争形式ではなく、「お菓子のつかみ取り」と「お菓子が入った果物狩り」の全員が参加しやすい2種類のレクリエーションを行いました。

取ったお菓子類は午後のおやつとなる事から皆さん真剣に取り組み、手のひらいっぱいのお菓子を抱えご満悦でした。

レクリエーション後は弁当と共に、厨房から急遽味噌ラーメンを提供していただき、とても豪華な食事となり皆さん笑顔に溢れていました。



とれないよ～

おいしいよ！

どれにしようかな



ハイ、チーズ！

えい～、そ～れ！



いただきます！

おいしいなあ

訓練棟

6月30日に開催。初めにゲートボール場をお借りしたレクリエーションでは、ボール遊び・バトミントン等を行い皆さん楽しんでいました。レクリエーションとさくらんぼ狩りは車椅子の方は参加出来ませんが、バーベキューは東デイルームの前で行った為、眺めたり外に出て楽しめた様子でした。

普段食べられない物を食べられた事で利用者様からはとても満足したとの声が多く聞かれました。



スポーツフェスタ2020

新型コロナの影響により、今年度のスポーツフェスタは感染防止の観点から中止となり、利用者様も大変に残念がっておりました。

そこで、代替行事として利用者様のみの参加ではありますが、ミニスポーツフェスタ的なお楽しみ会を開催しました。

3密を避ける意味合いから、西・東・訓練棟の3棟別々の日に開催し、いずれも大好評のうちに終了することが出来ました。その一端をご覧ください。



ワーイ！



がんばろうね



何するの？



ゲームだよ



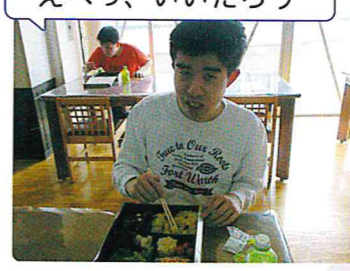
ゲーム楽しいよ



これでいい！！



ハイ、チーズ！



えへっ、いいだろう



昼食弁当です！



お弁当おいしいよ



6月23日に開催。東棟はお菓子取りと町内ドライブを行っています。当日はあいにくの小雨模様でしたが、男性の利用者様は外で、女性の利用者様は体育室にて、居室ごとに木に実としてなっているお菓子取りを行い、口で取る利用者様と手で取る利用者様がおり、どちらも笑顔で楽しんでおられました。その後は町内ドライブに出かけ、流れる車窓を楽しみました。レクリエーション後は西棟同様弁当を食べ、皆さんとても満足されたようでした。

東棟



昨年12月から新型コロナウイルスによる感染症が中国を中心に発生し、世界中に広がりました。2月、厚生労働省からの事務連絡で、感染拡大防止のための留意点に基づいて感染症対策会議を開催し、まだ山形県内での感染者は確認されていませんが、発生した場合を想定にマニュアル作成に取り組んできました。また、法人理事長から職員・利用者への留意点についての連絡もあり、感染拡大防止の徹底を図ってきました。3月にはインフルエンザ対策マニュアルを基に、新型コロナウイルス対策マニュアルをレベルに応じた行動計画を策定しています。

職員については、県外に出かける時には施設長に届けを出して外出する事にしました。現時点では県内に感染者の報告はありませんでしたが、3月31日に感染者が確認されました。県内での感染者が確認されたことで、4月1日に対策会議を行い、職員については、出勤時職員玄関で検温と記録を行い、消毒・マスクをして施設内に入る。体温が37.5℃以上ある場合には勤務を見合わせることにしました。また、早番業務等の職員が体調不良の場合には、緊急対応職員が代わりに出勤してもらうなどの対応を取るようになりました。

利用者さんについても、健康観察（検温）を行い、37.5℃以上の熱があった場合には個室で静養してもらう事とし、また、職場実習や施設外への活動なども中止としました。

4月2日には臨時の朝の会を行い、利用者さんに現在の状況説明を行うと共に職員・利用者さんへ、3つの密を避ける、不要不急の外出は極力避けてほしい等の協力をお願いしています。

4月中旬、感染が拡大し始め、近隣市町村でも発生してきたため、4月20日から、訓練棟と本館の職員・利用者の交流を中止し、勤務体制も変更して対策をとっています。日常生活や日中活動が

制限されたが、感染予防・防止対策として、職員・利用者さんともに理解と協力を頂き対応しました。本館と訓練棟の分離は、緊急事態宣言も解除され県内の感染者が発生しない状況となった5月31日までとし、6月1日から職員の勤務を戻しています。新しい生活様式も取り入れ、今後も感染予防に取り組みでいきたいと考えております。

保護者の皆さまへの対応については、年度末に開催予定であった保護者会、職員合同研修会の中止をはじめとし、現在まで面会自粛への協力を頂いているところです。ご家族へ学園での生活状況の連絡等については定期的な写真の郵送や、希望者にはテレビ電話での面会も試行的に行っており、利用者さんの元気な様子をお伝えしているところで

6月2日に最上地域社会福祉施設等感染症対策研修会に参加し、感染症拡大防止対策及び消毒と感染防護具の着脱についての実技指導を受けておられます。山形県からも第2波に備えての指針が出され、予防チェックリストの作成も行うこととの事であり、また、より徹底した対策強化と施設内感染時における事業継続計画の策定が重要であることから、当法人と各施設においてBCPを作成整備しています。今後とも国や県・町の情報を集めながら対応していきたいと考えております。

これからも皆様のご協力をお願いいたします。
笹原 正浩（6月末記）



職員手作りのパーティー

豊寿会

職員永年勤続10年表彰

この度、社会福祉法人「豊寿会」職員永年勤続10年を迎えた職員42名を対象とした表彰式を開催しました。

ふれあい学園からは12名が表彰を受けております。今後も利用者・家族の皆さんより安心して信頼いただけるよう、努力して参ります。



皆様からのたくさんのご厚意
いつもありがとうございます！

【寄贈】

- 4月11日 伊藤 稔様（瀬見）…かじか80匹
- 6月4日・16日 大場 幸一様（万騎の原）…アスパラ15kg
- 6月12日 最上町様…サンパチェンス40ポッド

編集後記

新しい年度を迎え、映画の中だけのことだと思っていた「パンデミック」が起こり、それに伴う集団パニックに近い混乱が新型コロナウイルスにより引き起こされました。様々なニュースが飛び交い情報が錯綜する中で、「何が正しくて、何が間違いなのか」をちゃんと把握して行く事の大切さを痛感したところです。しかし、自分が「正しい」と思っている事も他人にとってそれは「間違い」とらえられることもあります。決して間違いないこと、当たり前なことを言っていたとしても人それぞれ「正義」があり、その「正義」を誰かに強制したらその時点でそれは「間違い」に近い存在になると思われま

私たちの仕事には「意思決定支援」という言葉がありますが、これは簡単に言うとは職員が選

び押し付けるのではなく、利用者様に選択肢を提供し選んで頂き、相手の意志を尊重して支援して行くというものです。これは障がい者福祉だけでなくどまらず、これからの時代にとっても大切な事なのではないでしょうか。（記事 岡野達朗）